「参加いただくには】

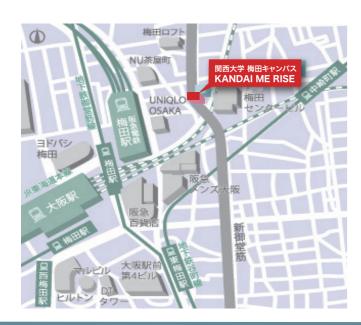
<講座概要>

場: 関西大学梅田キャンパス KANDAI Me RISE 京都高度技術研究所 (ASTEM)

程:中開ページ参照

③参加費用:

法人会員 (A): 通年 1,300,000 円(税込) 個人会員 (B): 半期 162,000円(稅込)



「お申込み・お問合せ] 公益財団法人 京都高度技術研究所

地域産業活性化本部 人材育成支援部

担当: 更田 (さらた)・遠藤

Mail: office@mot.astem.or.jp

FAX: 075-315-6634 TEL: 075-315-6725



ウェブ: https://xmgt.jp/bds/

[アクセス]

関西大学梅田キャンパス KANDAI Me RISE

〒530-0014

大阪府大阪市北区鶴野町1番5号

TEL 06-4256-6410

最寄駅

- ・JR「大阪」駅から徒歩 10 分
- ・阪急「梅田」駅茶屋町側から徒歩5分





usiness デザインスクール

Jobs To Be Done ハーバード大学のクレイト ン・クリステンセン氏が提 唱した考え方。(≒「ドリル を買いに来る人は、4分 の 1 インチ・ドリルを欲し ているのではない。4分の 1 インチの穴を欲している のだ。」 by セオドア・レビッ

ビジネス

のスキルを高め合う場を目指しています。

現可能かを(論理と実践で)検討していきます。

ンするかが、ビジネスデザインスクール (BDS) の目標です。

テーマ

コンセプト

Business Design School 2019

ビジネスデザインスクール (BDS) では、従来のビジネス常識が通用しなくなった時代に、

新市場の創造や新規ビジネスが創出できる人材の育成に特化して、『モノやサービスを創る

力』、『顧客を創る力』、『価値を創る力』の養成を目的に、多様な人々が切磋琢磨し、互い

大阪万博(2025年)/IRとSDGs(2030年)の組合せをテーマとすることによって、マイケル・ ポーター教授が " クリエーティング・シェアード・バリュー " の中で述べている『社会的目

的を伴う利益からは、より高次元の資本主義、すなわち、企業のさらなる成長をもたらすと 共に、社会をよりいっそう速く進歩させる資本主義の姿が見えてくる。その結果、企業、企 業と地域社会の繁栄という好循環が生まれ、持続的な利益が実現する。』という考え方が実

『価値は人間の心理の中に生まれて、物やサービスそのものには価値はない』と言う考えで

す。価値は、製品やサービスなどの事象に存在するものではなく、製品の使用者やサービ スを受ける人の心の中に生まれるものです。そのことを捉え、どのように価値を生み、どの ような革新的な商品やサービスを創出するか、そしてそれらを戦略としてどのようにデザイ

> 『共通価値 (CSV)』-日本 人が大切にしていた近江 商人の「三方良し」や渋 沢栄一氏の「右手に算盤 左手に論語」の考え方に も共通するハーバード大 学のマイケル・ポーター 氏らが提唱した「経済的 価値を創造しながら、社 会的ニーズに対応することか、あらゆる情報がコン で社会的価値も創造する」 という考え方。

メタメディアの時代 現代 は、アラン・ケイが提唱し たメタメディアによる智の 共有の時代。いわゆるメタ メディアという概念が今、 世の中を変えています。メ タメディアとは、映像とか 音とかテキストとか動作と ピューター上で処理され、 これは今まで人類が別々に 扱っていた情報を、すべて 一緒に扱うことができると いうことです。



価値の創造 価値の発見 持続可能性

阪急京都線 バス停 京都リサーチパーク前

顧客セグメント・価値提案解決策(サービス・商品)

[アクセス]

公益財団法人 京都高度技術研究所 (ASTEM)

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地 TEL 075-315-6725

最寄駅

- ・JR 嵯峨野線「丹波口」駅より徒歩5分
- ・阪急「西院」駅・「大宮」駅より徒歩 15分
- ・市バス「京都リサーチパーク前」下車

「デザインスクール」とは知 のコモディティ化において、 「知識経済(Knowledge Economy)」に代わり、 「クリエイティブ経済 (Creativity Economy) へのシフトを教育として体 系化したもので、技術・科 学系、デザイン・アート系、 ビジネス・マネジメント系 という異分野の専門家が連 携することでクリエイティ ビティを育成する近年世界 中で注目を浴びているプロ グラムです。

「A2A」(アクター to アク ター)とは、バーゴ氏は「価 業) から別のアクター (消費 『「B2B」/「B2C」から「A 者または顧客) に提示され、 2A」(アクター to アクター) その提示された価値提案を 消費者が受け容れ、その価 ファン・バーゴ氏とアリゾナ 値提案に含まれる提供物(モ 大学のロバート・ラッシュ ノ・サービス)を購入して使 氏が提唱している考え方。 用することによって、文脈価 値が具現化される (Vargo2009)」と説明し ています。

へ』は、ハワイ大学のステ



主催:学校法人関西大学 、公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM)

ビジネス デザイン スクール 2019 の講座内容

『もの (サービス) 創り+顧客創り+価値創り』講座

顧客のニーズが多様化している現代社会において、人々のモノに対する価値の捉え方も変化しており、今までのように形や色、性能 や機能といった情報だけでは、モノが売れなく、ビジネスが成り立たなくなってきています。

そのような価値の変化に注目し、人々がモノを持つことによって得られる「楽しさ」や「心地よさ」などの心のデザイン (mental model Design) をすることをテーマに、「モノかサービスか」を区別する二分法を起点にするのではなく、「モノもサービスも」を包括的に捉 え、企業がいかにして顧客と共に価値を創造できるかという「共創価値」や、顧客によって定義され、経験を通じて創造される「文脈価値」 (サービス・ドミナント・ロジック)の創出について、様々な角度から検討・検証作業を実践していきます。

『多様な人々が価値創造できる場の提供』講座

元早稲田大学ビジネス研究科 教授の大江建氏が提唱されている仮説のマネジメント手法 (米国においては、スティーブ・ブランク氏 主導でリーンローンチパッドとして、GE 社、インテル社、国立科学財団、国立衛生研究所、エネルギー省などで実践されています) をビジネスモデル構築とその検証という作業を繰り返すことで実践します。また、「人は人と話すときしか新しいことを言わない」という 前提に立ち、イノベーション創出のために多様な人々がワイワイぶつかる "混沌とした場" の提供を目指します。

Business Design School 2019 Spring Semester

Dusiness Design School 2017 Spring Schiester									
開講日	開講場所	13:00 ~ 15:00	講師	15:30 ~ 17:30	講師				
4/20 土曜日	関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE	オープン講座 1 仮説のマネジメント 不確実性 (VUCA) と対峙の仕方	大江 建 更田 誠	オープン講座2 「心と行動のデザイン=mental model Design」とは	奥田充一小阪裕司				
5/18 土曜日	ASTEM	未来の予兆 未来の「技術のコンテクスト」「生活スタイル」「社会の在り方」	高内 章 奥田充一	フューチャーデザイン Workshop 1 17:00 -17:30 エフェクチュエーション 17:30 -19:00 Darden とジョイントプログラム	西條辰義 中川善典 吉田満梨				
5/25 土曜日	関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE	SDGs 講義 持続可能なビジネスモデル構築のための SDGs2030 入門	山田太雲田中晴基	フューチャーデザイン Workshop2	西條辰義中川善典				
6/1 土曜日	関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE	価値創造マップ (VCM) 解説 ①人の心に価値が生まれる仕組み ②理解 (価値を感じる) プロセス	奥田充一	VCM 解説 課題: 2030年の VCM の作成 ①価値の構造 ②価値創造マップの使い方	奥田充一				
6/15 土曜日	関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE	2030年の価値提案 (VP) の発表 2030年の VP の策定における事業ビジョンの目標設定 2030年の VCM の見直しと完成	奥田充一	「行為のデザイン」 問題解決に効く「行為のデザイン」思考法	ムラタ チアキ				
6/29 土曜日	関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE	2030年のVCM完成 アップルの研究を事例としてビジョナリーとアントレプレナー の違いを理解し、目標達成をパースペクティブに戦略を立てる	奥田充一	2021年のVCM作成課題: 2021年 VCM の作成自社の事業条件と 2021 の VP を設定する3年後の技術的予見や生活の暮らしぶりの仮説を立てる	奥田充一				
7/13 土曜日	関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE	2021年のVCM発表 2021年のVPの見直しと完成 2021年のVCMの見直しと完成	大江 建 奥田充一	VCMを共時と通時でパースペクティブに考える 18:00~2時間程度の交流会	奥田充一				

Business Design School 2019 Fall Semester

2 4011100									
開講日	開講場所	13:00 ~ 15:00	講師	15:30 ~ 17:30	講師				
9/14 土曜日	関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE	春セメのレビューと春セメで作った 2021 年と 2030 年の VCM と時代を考える	奥田充一	memes Diagram(mD) の解説	奥田充一				
10/5 土曜日	関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE	蜘蛛の巣法:何故人は新しい発想が生まれないのか 頭を柔らかくする法=biasの壊し方	奥田充一 北村竜也	memes Diagram 実践	奥田充一				
10/26 土曜日	関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE	memes Diagram 発表+講評	奥田充一	小阪先生による心と行動のデザインについて 各発表の講評と特別講演	小阪裕司				
11/2 土曜日	関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE	仮説検証実践論1	大江 建 奥田充一 吉田満梨	MVP _※ (プロトタイプ)をフライヤーで表現	奥田充一				
11/30 土曜日	関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE	仮説検証実践論2	大江 建 奥田充一 吉田満梨	Pivot し、MVP(プロトタイプ)をフライヤーで表現	大江 建 奥田充一				
12/14 土曜日	関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE	仮説検証実践の振り返り	大江 建 奥田充一	VCM、mD を共時と通時で考える	奥田充一				
1月									

講師陣(敬称略)



大江 建 Takeru OHE

理学博士 (Maryland)・MBA (Columbia) 株式会社総合コンサルティングオアシス代表取締役 早稲田大学研究推進部参与 国際大学特別招聘教授 / 元早稲田大学 教授

奥田 充一 Mitsukazu OKUDA 株式会社 memesスクエア代表 元シャープ株式会社総合デザインセンター長 京都精華大学非常勤講師

大阪市立デザイン教育研究所非常勤講師 高内 章

Akira TAKAUCHI Strategic Business Insights.Inc

Intelligence Evangelist, Vice President

小阪 裕司 Yuii KOSAKA

情報工学博士(工学院大学) オラクルひと・しくみ研究所代表 九州大学客員教授/中部大学客員教授 日本感性工学会 理事

ムラタ チアキ Chiaki MURATA 株式会社ハーズ実験デザイン研究所代表取締役 神戸芸術工科大学客員教授 / 九州大学非常勤講師 日本デザインコンサルタント協会理事

NPO 法人エコデザインネットワーク理事 山田 太雲

Takumo YAMADA

モニター デロイト CSV サステナビリティ戦略プラクティス スペシャリストリード(サステナビリティ)

田中 晴基

Haruki TANAKA モニター デロイト CSV サステナビリティ戦略プラクティス マネージャー 日系コンサルティングファームを経て現職。雷機、不動産、鉄道、金融、エネルギー、航空等の業種に対し、CSV ビジョ ン・戦略策定、SDGs を起点とした社会課題解決型の新規事業創出、ルール形成戦略の立案、イノベーションやサステ ナビリティをテーマとした組織変革など幅広いプロジェクトに従事。

日本大学理工学部卒業後、プリンストン大学天体物理研究所フルブライト研究員を終て、メリーランド大学にて

Ph.D を、コロンビア大学にて MBA を取得。株式会社総合コンサルティングオアシスを設立、コンサルタントと

して欧米アジア企業の日本進出に携わる一方、日本企業の新規事業の参入に関わる。LSI ロジック社、日本セミコンダクター社、コグネックス社などの立ち上げ、社外役員を務める。また社内起業研究会を主宰し、新規事業や

社内ベンチャーの支援、評価のためのメソッドを開発され、その成果を実際のコンサルティング等に実践されて

多摩美術大学卒業、生活日用品メーカー、デザイン事務所を経てシャープ株式会社に入社、家雷製品の開発とデ

UXデザイン開発を指揮。その後、総合デザインセンター所長として全社デザイン戦略、UXデザイン戦略を策定

2011 年、(株) memes スクエアを設立し「メンタルモデルのデザイン開発」理論に基づき、企業の商品・サービ

BusinessIntelligence Center(現 Strategic BusinessInsights社)に移りJntelligence Evangelistとして様々な産業分野のクライアントと共に変化の予兆を探るプレインストーミングに継続して関わる一方で、未来

の不確実性に対峙しつつ長期的な事業開発に取り組む企画担当者をサポートするプロジェクトを、数多く手が

"空間における人間の感動の研究"を目指し、広告代理店にて、イベントプランナーとして多数の企画・プロ

デュースを行われ、人の「感性」と「行動」を軸にしたビジネスマネジメント理論と実践手法を研究開発し、上場企

主な著書:「価値創造の思考法」(東洋経済新報社)、「『心の時代』にモノを売る方法」(角川oneテーマ)、「お客

大阪市立大学工学部応用物理学科卒業、三洋雷機退社後、1986年ハーズ実験デザイン研究所を設立。プロダクトを

大阪市立大学工学部の村物理学科や業、三洋電機退社後、1986年ハース実験デザイン研究所で設立。プロタクトを中心にIF GOLD を始め国内外のデザインアウードで 160 点以上を受賞。Microsoft Xbox 360 を始め世界記録的販売数を達成したデザインで、Newsweek の「世界が注目する日本の中小企業 100 社」に選定される。自ら運営する METAPHYS は、「行為のデザイン」に基づいて開発から販売までを実践している。また東京都美術館新伝統工芸プロデュース事業や越前の itza、鳥取の TOTT、新潟の百年物語などの地域振興や、eco products design competition 2007-2010、social design conference 2011-2015 の開催を通じて社会課題除決デザインの啓蒙に尽力している。著書『ソーシャルデザインの教科書』、『行為のデザイン思考法』、『感性ポテンシャル思考法』

大手国際 NGO で12年間「持続可能な開発」の諸課題に関する政策アドボカシーに従事したのち、2015 年の国連

SDGs 交渉に関与し、成果文書案の一部修正を勝ち取る。モニターデトロイトではサステナビリティ潮流やステークホル

ミネソタ大学大学院博士課程修了。1985年オハイオ州立大学講師、1986年カリフォルニア大学サンタバーバ ラ校助教授、1991年筑波大学社会工学系助教授、1995年大阪大学社会経済研究所教授、2006年大阪大学

サスティナビリティサイエンス研究機構教授。2011年同大学環境イノベーションデザインセンター教授、2015

年一橋大学経済研究所教授を経て、高知工科大学フューチャー・デザイン研究所所長、総合地球環境学研究所

2005年東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻博士課程修了(2005)。2005年東京大学大学院工学

系研究科社会基盤学専攻助手、2007 年 高知工科大学社会マネジメント研究所講師、 2008 年 同大学マネ ジメント学部講師、2011年同大学マネジメント学部准教授、2015年同大学経済・マネジメント学群准教授。

2017 年より同大学フューチャー・デザイン研究所准教授を併任。専門は、インタビュー調査とデータ解釈に戻

づく質的研究。近年は、フューチャーデザイン研究、特に人が仮想将来世代になりきるという体験の質的研究、お よびその成果をフューチャーデザインワークショップの設計に生かすための実験的研究に力を入れている。 立命館大学国際関係学部卒業、神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了(博士商学)、首都大学東

京都市教養学部経営学系助教を経て、2010年より現職。専門は、マーケティング論で、特に新しい製品市場の

形成プロセスに関心を持つ。主要著書に、『ビジネス三國志』(共著、プレジデント社)、『マーケティング・リフレー

甲南大学理学部応用物理学科卒業後、独立系 Sler に入社、駐米。Business development sales としてベン

ミング』(共著、有斐閣)、訳書に『エフェクチュエーション:市場創造の実効理論』(碩学舎)など。

その後、地球環境事業推進、研究企画、新事業開発などの業務に従事。1999年に米国 SRI Consulting

ザイン戦略策定に携わる。2000 年にソフトデザインセンター (現 UXデザイン室) を設立し初代所長を務め、

います。主な著書:「なぜ新規事業は成功しないのか」(日本経済出版社)他

スの創出に貢献、また地方自治体の産業政策等の指導を行う。 京都大学工学部卒業後、鐘紡株式会社に研究員として入社。

大手小売業にて店舗運営等に従事し、"人間の消費行動"を探求。

業も多く所属する実践企業の会を運営されています。

様の『特別』になる方法」(角川書店)他多数。

ダーの動向等についてインサイトを提供している。

けられています。

し、デザインブランドの構築に向けて、戦略に基づき同社のデザイン開発を指揮指導する。



西條 辰義 Tatsuyoshi SAIJO

経済学博士 (Minnesota) 高知工科大学フューチャー・デザイン研究所所長 総合地球環境学研究所プログラムディレクター

中川 善典 Yoshinori NAKAGAWA 丁学博士(東京大学) 高知工科大学マネジメント学部准教授 フューチャー・デザイン研究所

吉田 満梨 Mari YOSHIDA 商学博士(神戸大学) 立命館大学経営学部 准教授

Visiting Professor, Department of Marketing, Otago Business School

北村 竜也 Tatsuya KITAMURA

チャー企業のプロダクトを日本に導入する業務に従事。帰国後、設計事務所を経て独立。 デザインシンキングの思考を元に、中小企業の価値創造にフォーカスし、デザインと経営の一体化を独自のデザ

インフレームで推し進める。また、中小企業庁や丘庫県の派遣専門家として、中小企業のブランド戦略に携わり、 工業、美容、食品などのプロダクトやグラフィックなど幅広く活動をしています。 ひょうご産業活性化センター経営専門家派遣事業 専門家 2015 年京都 D-school(現ビジネスデザインスクール)修了生。 ニューヨークで財務関連の事業経験持ち、京都高度技術研究所において、京都におけるデザインを実験経営学 の手法をベースに拡大してビジネスデザインの分野を確立・推進。

プログラムディレクター。専門は、制度設計、フューチャー・デザイン。

大学発ベンチャー創出のための教育・コミュニティー・インキュベーションに参画しアジア・アントレプレナーシップ・アワードノミネート委員、ジャパンビジネスモデルコンペティション実行委員を務める。 そして日本文化・技術と人々の笑顔・感謝を結ぶ"こと"の参画ビジネスデザイン教育の企画、及び、場の創出に



北村竜也デザイン事務所代表 フリエイティブディレクター ウ小企業庁 専門家派遣登録事業 専門家



更田 誠 Makoto SARATA 学術博士(京都工機大学)、同志社大学嘱託講師 (公財) 京都高度技術研究所人材育成支援部 次長 アジア・アントレブレナーシップ・アワードンミネート委員 ジャパンピジネスモデルコンペティション実行委員

未定

無料オープン講座、各チーム発表+中谷日出氏(予定)